



柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

令和 3 年度 地域活動支援事業の事業提案を募集します

市では、身近な地域自治を推進するため、地域活動支援事業を実施します。地域の課題解決、活力向上のために自発的・主体的に行う地域活動に対して補助金を交付します。柿崎地域をもっと住みやすく、もっと元気にするために、当事業を活用してみませんか。

■事業の内容

団体等が主体的に取り組む活動に対し、市が補助金を交付します。

■事業提案できる団体の要件

5人以上で構成し、市内で活動する法人または団体（政治や宗教活動を目的とする法人等や営利法人は除く）

■柿崎区の予算（配分額）

710万円

■補助率と補助金額

補助金の額は、補助対象経費に次の率を乗じた額（千円未満は切捨て）とし、100万円を限度とします。

- ① 継続事業 10分の9（採択数1回）
- ② 継続事業 10分の8（採択数2回以上）
- ③ 新規事業 10分の10

■事業の採択までの流れ

①事前相談

3月31日（水）まで
事前相談は、新規・継続に関わらず必要です。

②事業提案書の募集期間

4月1日（木）～20日（火）

③基本審査・採択方針の審査

5月11日（火）

④プレゼンテーション

5月25日（火）

新規事業は、必須です。

継続事業は、地域協議会からの要請または団体からの希望により行います。

⑤採択決定

6月8日（火）

【問合せ】

総務・地域振興グループ

【優先して採択する事業】

柿崎区の地域資源を生かし活力ある魅力的なまちづくりを推進するため、団体等の自主的、主体的な取組のうち、次に掲げるものを優先的に採択します。

- (1) 地域の歴史、文化や伝統の保存、活用に資するもの
- (2) 子どもたちの健全育成に資するもの
- (3) スポーツや体力づくりをとおして住民の健康増進に資するもの
- (4) 特産品の開発等により地域産業の活性化に資するもの
- (5) 観光資源の活用により知名度向上や交流人口の増加に資するもの
- (6) まちづくりを担う人材育成に資するもの
- (7) 地域の環境美化に資するもの
- (8) 姉妹都市を含む他の地域との交流・連携を推進するもの
- (9) 安全・安心な地域づくりに資するもの

まちづくりフォーラムを開催しました

まちづくりフォーラムに出席して

地域協議会委員 岩野 秀樹

2月23日（火・祝日）に、柿崎地区公民館で、地域協議会主催のまちづくりフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、地域協議会の活動報告や地域活動支援事業の成果発表、来年度の地域活動支援事業に関する概要説明がありました。

地域協議会の活動報告では、昨年10月から活動を開始した「地域の交通を考える会」と「柿崎空き家活かそうプロジェクト」の各委員長から報告がありました。今後の活動も、何らかの形で皆さんにお伝えしたいと考えています。

また、地域活動支援事業の成果発表では、14の採択団体のうち、「柿崎中学校創立50周年記念事業実行委員会」、「柿崎商工会青年部」、「柿崎ソフトテニスクラブ」の3団体から行っていただきました。仕事を持ちながらも、団体の活動のために熱意を込めて取り組む皆さんの姿に感動しました。

フォーラムには、関係者を含めて約60人の来場がありました。多くの方からお越しいただき、大変ありがとうございました。



会場内の様子



地域協議会の活動報告



柿崎商工会青年部による成果発表
(イルミネーションの写真)



柿崎ソフトテニスクラブによる成果発表

今年度 地域活動支援事業に採択した事業を紹介します

坂田池園地桜植替え事業

柿崎観光協会

坂田池の桜は、昭和 40 年代後半に、観光名所にしようと有志が寄付を集めてソメイヨシノの苗木 1, 000 本を購入し、池周辺に 700 本を植えたものです。残りは学校の校庭などに植えられたと伝えられています。

私たちは、長い間この桜を楽しんできましたが、近年では枯れた幹や枝、花をつけない「てんぐす病」の枝が目立ってきました。ソメイヨシノの寿命は 60 年、植栽後 40 年を経過すると衰えが進むといわれます。そこで、花いっぱい桜並木を復活したいとの思いから、植替えをすることにしました。選んだ品種は、ソメイヨシノと同じ頃に咲き、「てんぐす病」に罹らない「陽光」を選びました。色が濃く、鮮やかなピンク色の花、満開となった「陽光」を皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

また、この桜は、戦場に散った教え子たちの地に咲かせたいとの思いで元教師の高岡さんによって生み出された「鎮魂と平和への願い」が込められた桜でもあります。



柿崎総ぐるみあいさつ 1, 000 人大運動事業

柿崎区青少年育成会議

柿崎区青少年育成会議では、9 月 8 日（火）から 11 日（金）まで「柿崎総ぐるみあいさつ 1, 000 人大運動」を行いました。地域活動支援事業を活用し、例年同様の取組として青い手袋やのぼり旗の購入、さらには新しい試みとして子ども用の青い手袋を購入しました。

期間中、町内会や各学校・保育園から通学路や校門付近にのぼり旗を設置していただき、青い手袋を着用し、各所であいさつ運動を行いました。また、「柿崎まちづくり振興会」や「柿崎子ども会連合会」などの各団体、一部の区内事業者からも協力いただき、まさに柿崎総ぐるみのみあいさつ運動となりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらの活動となりましたが、6, 007 人の方々からご参加いただきました。購入させていただいた物品を今後も活用していくとともに、より多くの方々からのご協力をいただけるような活動にしていくと思います。



柿崎区地域協議会の主なうごき(令和 2 年 8 月～令和 3 年 3 月)

会議名（開催月日）	主な内容
第 5 回地域協議会（8 月 18 日）	広域最終処分場の候補地検討委員会の協議状況について
団体との懇談会（9 月 15 日）	地域の課題について意見交換
第 6 回地域協議会（9 月 15 日）	団体との懇談会に伴う意見交換、視察研修について
出雲崎町視察研修（10 月 20 日）	エコパークいずもぎき、デマンド交通てまりんの視察
第 7 回地域協議会（10 月 20 日）	自主的に審議するテーマについて
たより編集委員会（10 月 20 日）	地域協議会だより第 40 号について①
第 8 回地域協議会（11 月 17 日）	広域最終処分場の候補地検討委員会の進捗状況について
たより編集委員会（11 月 17 日）	地域協議会だより第 40 号について②
まちづくりフォーラム実行委員会(12 月 2 日)	まちづくりフォーラムの開催内容等について
第 9 回地域協議会（12 月 15 日）	令和 3 年度地域活動支援事業に係る採択方針等について
第 10 回地域協議会（1 月 19 日）	令和 3 年度地域活動支援事業のスケジュールについて
たより編集委員会（1 月 19 日）	地域協議会だより第 41 号について①
まちづくりフォーラム実行委員会(1 月 19 日)	まちづくりフォーラムの開催内容等について
第 11 回地域協議会（2 月 16 日）	まちづくりフォーラムについて
まちづくりフォーラム（2 月 23 日）	地域協議会の活動報告、地域活動支援事業の成果発表
たより編集委員会（3 月 4 日）	地域協議会だより第 41 号について②
第 12 回地域協議会（3 月 16 日）	令和 3 年度柿崎区における主な事業について

※柿崎区の地域課題について検討する委員会「地域の交通を考える会」、「柿崎空き家活かそうプロジェクト」も随時開催しています。

地域協議会を傍聴しませんか？

開催日程は、防災行政無線でお知らせします。

詳細は、柿崎区地域協議会事務局（柿崎区総務・地域振興グループ）へお問い合わせください。

【編集後記】

令和 2 年度も終盤です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス禍で、三密を避けるために多くのイベントが中止を余儀なくされました。

活動の制限により閉塞感が漂う中でも、2 月 23 日午後 1 時 30 分から、柿崎地区公民館でまちづくりフォーラムが開催されました。

人々の思いや夢や希望を見出すことができました。地域活動の輪がさらに広がり、発展することに期待するとともに、来年度も地域の課題解決のために努力していきたいと思えます。

（貝谷）

編集委員長 片桐 充
編集委員 岩野秀樹 薄波清美

貝谷雅子 片桐宏樹
小出祥世 小山 慶

